

## 「鷺沼駅周辺再編整備に伴う公共機能の検討に関する考え方」を公表します

川崎市では、民間活力を活かした交通利便性の高い駅周辺のまちづくりを進めています。

宮前区内においても、鷺沼駅前地区再開発準備組合が再開発事業の計画検討を進めていますが、市民の皆様などから公共機能に関するさまざまな要望もいただいていることから、再開発事業の計画検討の中で議論が可能となるよう、宮前区内の公共機能について、次のとおり検討を行い、平成 30 年度内の基本方針策定を目指します。

### <検討内容>

- 区役所・市民館・図書館等の移転可能性を含め、鷺沼駅周辺再編整備に導入する公共機能について検討します。
- 公共機能の検討を踏まえ、公共交通による駅アクセスの向上について検討します。

なお、検討にあたっては、公募市民等によるワークショップやフォーラムの開催、無作為抽出による区民アンケート、関係団体等への説明・ヒアリングなどにより、多角的な意見聴取を実施しながら進めます。

### ■ 資料（市議会文教委員会・まちづくり委員会報告資料）

資料 鷺沼駅周辺再編整備に伴う公共機能の検討に関する考え方について

#### 【問い合わせ先】

川崎市まちづくり局市街地整備部  
地域整備推進課 担当 若林  
電話 044-200-3009

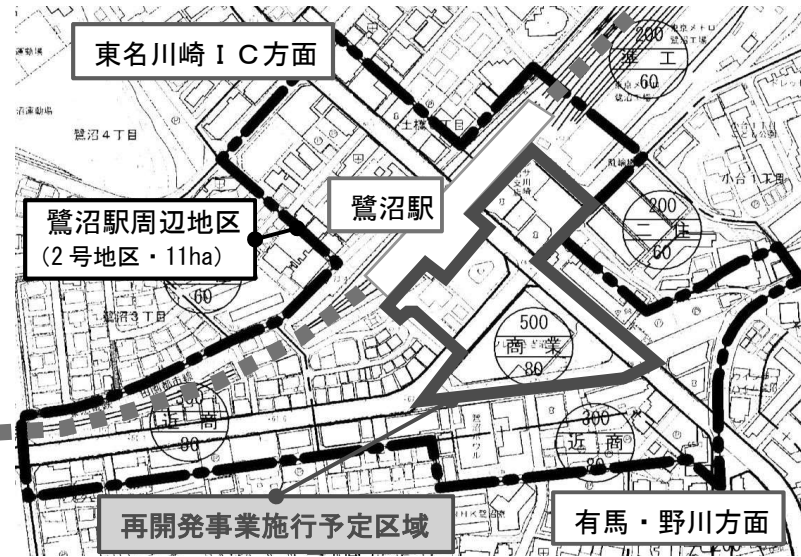
川崎市市民文化局コミュニティ推進部  
区政推進課 担当 山崎  
電話 044-200-2258

川崎市宮前区役所まちづくり推進部  
企画課 担当 高石  
電話 044-856-3224

川崎市教育委員会事務局生涯学習部  
生涯学習推進課 担当 大島  
電話 044-200-3302

## 1 現状と課題

- 鷺沼駅周辺の地域は、昭和40年代に東急田園都市線の延伸を契機として市街化が進んで以来、大きな施設・機能の更新等が無いまま40～50年が経過しており、今後、高齢化や建物の老朽化が同時に進行することが想定されている。
- 山坂が多く、路線バスによる駅へのアクセスが多い地域であるものの、交通広場の機能不足などにより、バス需要に応える増便等の対応が難しいなどの課題がある。



## 2 鷺沼駅周辺の再編整備

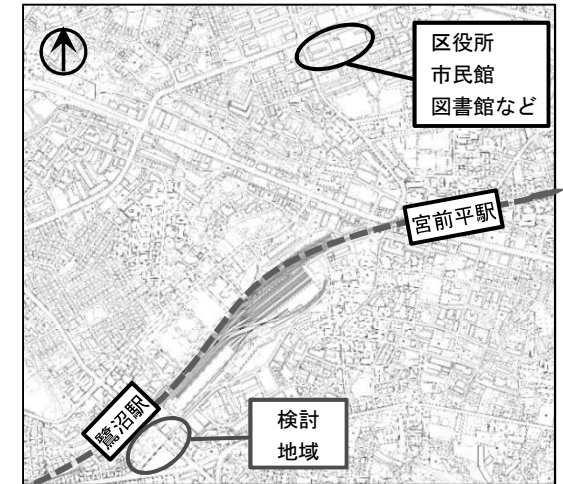
- 鷺沼駅周辺では、平成27年6月の東急電鉄(株)との包括連携協定を契機に、連携した取組として、駅前広場の再編整備等にあわせ、多様な都市機能の集積と、交通結節機能の強化に向けた取組を推進することとしている。
- また、鷺沼・宮前平駅周辺地区は川崎市総合計画において地域生活拠点に位置付けられており、また、平成28年度に見直しを行った「都市再開発の方針」では、その一部区域について、「特に一体的かつ総合的に市街地の再開発を促進すべき相当規模の地区」である「2号地区」として都市計画決定するとともに、市として鷺沼駅周辺土地利用方針(案)を作成し、これを基に検討を進めている(別紙「鷺沼駅周辺再編整備に向けた検討状況」参照)。
- こうした中、民間における再開発の機運が高まっており、再開発事業施行予定区域内の権利者5名で構成される「再開発準備組合(以下「準備組合」)」が平成29年8月16日に設立された。
- 準備組合では、平成31年度都市計画決定、平成33年度工事着手を目指して事業計画の検討が進められており、平成29年12月、同準備組合から後述する議会各会派や市民等からの意見・要望に関して、市の速やかな検討が要請されている。

## 3 議会各会派や市民等からの意見・要望

- 平成29年8月28日には、鷺沼駅周辺の町内会・商店会長等で構成される「再開発推進協議会(以下「協議会」)」が設立され、再編整備に期待する機能やまちづくりについての議論が行われている。
- また、再編整備の動きが活発化する中、以下のとおり、公共機能に関する様々な意見・要望が寄せられている。
  - 平成29年9月 市全町内会連合会：区役所・市民館・図書館の一部機能の移転を求める要望書
  - 11月 協議会：区役所・市民館・図書館の移転について求める要望書
  - 〃 宮前区議団：平成30年度予算への緊急要望事項として区役所機能等の体制整備を求める要望
  - 12月 市議会：3会派から公共機能移転に関する代表質問

## 4 宮前区の子な公共施設の状況

- 区役所、市民館・図書館、消防署、警察署は、それぞれ隣接して宮前平に立地しているが、最寄り駅の宮前平駅からの急坂をはじめ、アクセスに不便であるという地元意見が以前から寄せられている。
- 区役所は、昭和57年の供用開始以来35年が経過し、区役所の中では、麻生区役所と並んで最も古い庁舎となっている。
- 市民館・図書館は、昭和60年の開館以来32年が経過し、施設や設備の老朽化が進んでいる。
- こうした市の施設については、資産マネジメントカルテに基づく長寿命化に配慮した取組を実施しているところであるが、現地における施設更新の際は仮設庁舎建設用地が必要となるなど、将来的には様々な技術的な課題が見込まれている。



## 5 基本的な考え方

本市においては、民間活力を活かした交通利便性の高い駅周辺のまちづくりを進めており、議会各会派や市民等から公共機能に関する様々な要望もいただいていることから、準備組合が進めている再開発事業の計画検討の中で議論が可能となるよう、平成30年度内の基本方針策定を目指し、宮前区内の公共機能について、次のとおり検討を行う。

- 区役所・市民館・図書館等の移転可能性を含め、鷺沼駅周辺再編整備に導入する公共機能について検討する。
- 公共機能の検討を踏まえ、公共交通による駅アクセスの向上について検討する。

## 6 検討の進め方

- 公募市民等によるワークショップやフォーラムの開催、無作為抽出による区民アンケート、関係団体等への説明・ヒアリングなど、多角的な意見聴取を実施しながら検討を進める。
- 庁内では、副市長を座長とする「鷺沼駅周辺再編整備公共機能検討会議」を設置し、市民文化局・まちづくり局・宮前区役所・教育委員会事務局を中心に、各局が連携しながら組織横断的な検討を進める。

## 7 今後のスケジュール

平成30年2月	関係団体等への説明・ヒアリング開始	平成31年2月	公共機能に関する基本方針案の公表
5月～	ワークショップ参加者公募開始	2月	パブリックコメントの実施
	ワークショップの開催(3～4回程度)	3月	基本方針の公表
	無作為抽出アンケートの実施		
	フォーラムの実施(時期未定)		